

令和6年度

募集案内

青森県立中央病院

令和6年度歯科臨床研修医 募集案内



歯科医師臨床研修を予定している学生の皆様へ



充実の指導体制で、存分に修練を！

青森県立中央病院 院長

廣田 和美

当病院は、東北地方でも有数の規模を誇る青森県唯一の県立総合病院であります。

青森県の中核病院として、専門性の高い高度な医療を実施しており、歯科においても多数の症例が集中しております。

また、研修にあたって、臨床研修指導医も豊富であり、院内研究発表も定期的を実施しており、歯科医師臨床研修の環境としては最適であると思っています。

山と海に囲まれ、食べ物が美味しく、夏にはねぶた祭りも楽しめるこの環境で、存分に経験を積んで頂きたいと思います。

当院で歯科医師臨床研修を志す皆様を、私をはじめ職員一同心からお待ちしております。

- 1 応募資格
第118回歯科医師国家試験合格見込の者
- 2 応募方法
次の書類を青森県立中央病院総務課あてに送付すること。
 1. 歯科医師臨床研修申込書（別添様式）
 2. 履歴書（別添様式）
 3. 大学卒業（見込）証明書（様式自由）
 4. 大学の成績証明書（様式自由）
 5. 健康診断書（様式自由）
- 3 募集人員
2名
- 4 研修期間
2年
- 5 選考方法
書類審査及び面接により行います。
- 6 面接日（ ）内は出願締切
令和6年9月9日(月)（8月26日(月)必着）
・時間、場所などは追って通知します。
*マッチングの結果で内定が決定次第通知します。
- 7 提出先及び問い合わせ先
〒030-8553
青森県青森市東造道2丁目1番1号
青森県立中央病院 総務課 臨床研修担当
T E L 017-726-8315
F A X 017-726-8325
E-mail kenbyo@pref.aomori.lg.jp又は、kensyu_kenbyo@pref.aomori.lg.jp
- 8 身分・待遇
 - (1) 身分
地方公務員法第22条の2第1項に定める一般職の地方公務員（会計年度職員）。
 - (2) 給与（月額）

1年次	379,552円（9月まで）
	411,552円（10月から）
2年次	434,952円

※その他、期末勤勉手当、時間外勤務手当、扶養手当、寒冷地手当等
 - (3) 年次休暇

1年次	15日
2年次	20日

※その他、夏季休暇・病気休暇・結婚休暇等
 - (4) 社会保険
公的医療保険、公的年金保険、公的災害補償
 - (5) 宿舎
医師公舎及び独身寮あり
 - (6) 賠償責任保険
病院加入

9 青森県立中央病院 歯科医師臨床研修プログラム

(1) 概要

【研修プログラムの目的】

歯科医師の卒後臨床研修を通じて、到達目標としての知識、態度、技能、および研鑽を積み、さらに、患者に信頼される歯科医師の育成を目指す。

【研修プログラムの特徴】

県の基幹病院の特徴を生かした研修プログラムである。

1年次 一般歯科診療、口腔外科ベーシックコース など

2年次 口腔外科アドバンスコース、インプラント治療、骨増生、麻酔科研修 など

【研修方法、内容】

1 基本方針

臨床研修歯科医師は当院の日常診療業務において、漸進的な責任を課され、勤務を通じて研修、研鑽する。臨床研修歯科医師は歯科口腔外科及び院内の各種講習会等に参加して研修する。

2 研修期間、内容

1年次：初期研修（一般歯科治療、口腔外科外来、入院治療）

2年次：後期研修（全身管理を主体とした口腔外科治療、インプラント治療、手術管理、麻酔科研修）

3 教育、研修に関する行事

手術カンファレンス（週1回）、入院患者カンファレンス（週1回）

院内症例報告会参加、発表（年2回）、学会発表

4 評価と記録

1) 個別的目標への到達度合を臨床研修歯科医師および指導歯科医師が評価する。

2) 研修症例のうち2症例の詳細な症例報告を作成し、院内または学会発表する。

3) 研修報告書を作成する。

4) 手術記録を作成する。

【プログラム修了の認定】

研修管理委員会において評価表、研修記録などからの評価、研修到達度を確認して総合的に評価する。病院長は、その評価に基づいて当該研修医に対して研修修了の認定を行い、研修修了証を交付する。

【研修修了後の資格】

本院の歯科医師臨床研修プログラムの研修修了者は、（公社）日本口腔外科学会の認定医、専門医育成期間としての研修認定の資格を有する。

(2) 具体的な研修カリキュラム

I 期間割と臨床研修歯科医師配置

1) 期間割、内容

1年次：一般歯科治療、口腔外科外来、入院管理、有病者歯科治療、障害児者治療、救急患者治療を主体とする。

2年次：1年次プログラム内容に加え、口腔外科アドバンスコース、インプラント治療、骨増生、隣接医学各科の手術見学、麻酔科での全身麻酔研修など、多方面における研修が可能である。

2) 配置

歯科口腔外科外来、病棟、中央手術室及び協力型（Ⅱ）臨床研修施設で研修を行う。

II 到達目標と研修内容（1年次プログラム）

1) 診断学

① POS、EBMに基づいた病歴のとりかた（患者の訴えから正確な情報をつかみ詳細に記録する）

② 診断に必要な検査項目の選択

③ 主訴に対する正確な診断と全身状態の把握

④ 検査データの読み方考え方

2) 歯科補綴学

① 補綴部位の解剖学的、生理学的状況の診断

② 義歯作製（各段階）の習得

③ 歯冠補綴・ブリッジ作製の習得

3) 歯科保存学

① 充填処置の習得

② 歯内療法処置の熟練

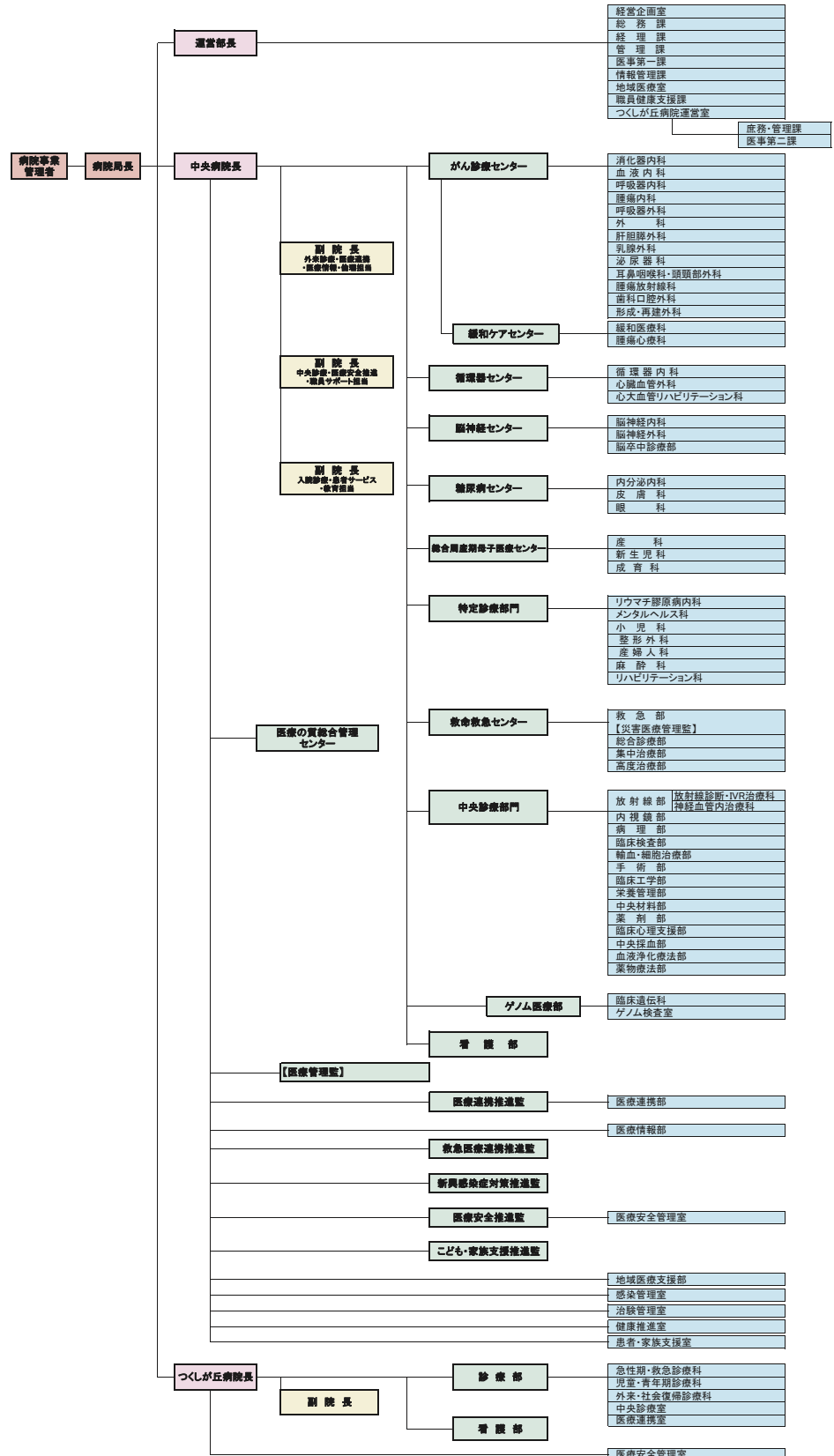
- 4) 歯周病学
 - ①歯周組織の検査と歯周病の診断
 - ②歯周病の治療計画の作成
 - ③歯周病治療の習得
- 5) 小児歯科学
 - ①小児に対する歯科治療の習熟
- 6) 予防歯科学
 - ①刷掃指導の習熟
 - ②フッ素塗布、予防填塞の習得
- 7) 口腔外科学
 - ①抜歯術、縫合術の習得
 - ②口腔内消炎手術の習得
 - ③口腔外科疾患の見学と治療体系の習得
 - ④口腔腫瘍の病理組織学検索の研修
- 8) 歯科インプラント学
 - ①インプラント治療の見学研修
 - ②骨増生手術の見学研修
- 9) 歯科薬物学
 - ①症状、病態にあわせた投薬の習熟
- 10) 歯科麻酔学
 - ①局所麻酔、伝達麻酔の習熟
 - ②全身麻酔の見学、研修
- 11) 有病者歯科治療の研修
- 12) 歯科健康診断の研修
- 13) 救急医療の研修
- 14) 地域歯科医療の研修（協力型（Ⅱ）臨床研修施設での研修）
 - ①地域歯科保健の研修
 - ②訪問歯科治療の研修
 - ③小児に対する歯科治療の研修
- 15) その他
 - ①診療録、診療情報提供用紙、診断書等の作成
 - ②診療態度の確立（歯科医師としての診療姿勢、患者への配慮、インフォームド・コンセント、同意書の取得）

Ⅲ 到達目標と研修内容（2年次プログラム）

- 1) 各種検査の指示及びデータの分析
 - ①X線検査（CT、MRI、PET-CT含む）
 - ②血液検査
 - ③細菌検査
 - ④病理組織検査
 - ⑤生理学的検査 など
- 2) 研修内容
 - ①伝達麻酔法
 - ②有病者歯科治療における対応（バイタルサインの観察と評価、検査所見の評価、服用薬剤の評価と対処、リスクの説明、主治医との連携）
 - ③歯周病の系統的治療
 - ④口腔内消炎手術（膿瘍切開、歯肉弁切除）
 - ⑤口腔内小手術（歯槽骨整形術、小帯整形手術、縫合術他）の計画的実施
 - ⑥埋伏歯抜歯および嚢胞摘出術の執刀
 - ⑦インプラント、骨増生のコンピューターシミュレーション
 - ⑧インプラント埋入、補綴のハンズオン
 - ⑨顎関節症の系統的治療
 - ⑩咬合誘導
 - ⑪口腔外科手術の前準備、執刀、入院周術期管理
 - ⑫ショックの救急処置（一次救命処置の実践）
- 3) その他
 - ①全身状態の把握と関連他科との連携
 - ②他の医療従事者との連携
 - ③リスクマネジメントの実践
 - ④隣接医学各科の手術見学研修
 - ⑤麻酔科に配属して全身麻酔研修、実践

施設の概要

1. 開設者 青森県知事
2. 病院事業管理者 大山 力
3. 病院長 廣田 和美
4. 住所 〒030-8553 青森県青森市東造道2丁目1番1号
5. 組織図 (令和6年4月1日現在)



6. 医師数（令和6年4月1日現在）

医師：209人

（うち、歯科医師4人、歯科臨床研修医2人）

7. 病床数等

◆病床数 684床（一般679床（うち、歯科口腔外科4床）、感染5床）

◆1日平均入院患者数（令和5年度） 481.2人（うち、歯科2.9人）

◆平均在院日数（令和5年度） 11.9日（うち、歯科5.8日）

◆1日平均外来患者数（令和5年度）1,212.7人（うち、歯科70.8人）

◆1日平均救命救急受診患者数（令和5年度） 43.9人

8. 主な設備

ハイブリッド手術室、PET-CT、

ダヴィンチSiサージカルシステム、MRI装置3台、CT装置3台、

ライナックシステム2台、アフターローディングシステム、

心カテ装置、血管連続撮影装置、マンモグラフィ2台、

シンチレーションカメラ3台、色素レーザー、人工心肺装置、

脳外科手術顕微鏡装置、脳外科手術用ナビゲーションシステム、

デジタルラジオグラフィ、脳脊髄誘発電位検査装置、

電子顕微鏡、光線力学療法用半導体レーザー、高気圧酸素装置、

無菌室、人工透析室、LDR3室 他

病院の沿革

昭和27年

病院開設

昭和28年

総合病院に承認

昭和33年

救急病院に指定

昭和43年

研修病院に指定

昭和56年

新築移転、救命救急センター併設

昭和60年

電子計算機による医事会計業務開始

昭和61年

ICU加算の承認

平成8年

全国がんセンター協議会に加盟

エイズ治療拠点病院に指定

一般病床714床、結核病床16床となる

平成9年

がん診療施設情報ネットワークシステム起動

平成12年

(財)日本医療機能評価機構による機能評価の認定

オーダリングシステムの全部稼働

平成13年

NICU設置

平成14年

非血縁者間骨髄移植・採取施設に認定

平成15年

外来化学療法加算の承認、外来治療センターの開設

平成16年

総合周産期母子医療センター開設

一般病床689床、結核病床16床となる

平成17年

(財)日本医療機能評価機構による

機能評価の更新認定

地域がん診療連携拠点病院に指定

平成19年

地方公営企業法の全部適用に伴い

病院事業管理者・病院局を設置

平成20年

都道府県がん診療連携拠点病院に指定

がん診療センター、循環器センター、脳神経センターを開設

平成21年

救命救急センターを中央診療部門

から独立させ機能強化

7対1看護体制

平成22年

糖尿病センターを設置

平成23年

新救命救急センター整備

一般病床689床、結核病床6床となる

平成24年

地域医療支援病院の承認

平成26年

MRI棟を稼働

平成27年

地域医療支援病院承認

第一種及び第二種感染症指定

医療機関に指定

平成28年

PET-CTを稼働

平成29年

一般病床679床、感染症病床5床となる

平成30年

ハイブリッド手術室を稼働

平成31年3月

チャレンジ(挑戦)プラン2019策定将来構想策定

令和2年2月

へき地医療拠点病院指定



病院の理念

県民の健康をささえ
安全で高度な医療を提供し
患者さん中心の心あたたかな
病院を目指します

病院の基本方針

1. 質の高い安全な医療の提供
2. 患者さんの権利の尊重
3. 保健・医療・福祉との連携
4. 臨床教育・研究の充実
5. 健全で効率的な病院経営

青森県立中央病院



交通案内

青森駅からバス(市営、弘南)で県立中央病院前停留所まで約30分

〒030-8553 青森市東造道2丁目1番1号 青森県立中央病院 TEL (017) 726-8111 (代)・FAX (017) 726-8325

E-mail kenbyo@pref.aomori.lg.jp又は, kensyu_kenbyo@pref.aomori.lg.jp URL <http://aomori-kenbyo.jp/>